

ご あ い さ つ

近年、少子高齢化や世帯の極小化が急速に進み、夫婦共働き家庭やひとり親家庭などの増加、家族形態が多様化している一方で、地域活動や育児、余暇などに割くことのできる時間が少なくなるなど、市民の生活様式が従来のものから大きく変わってきています。

ひとり暮らし高齢者や子育て家庭をはじめとした、支援を必要とする人が増え続けている中で、これまで以上に地域での助け合いや支え合いが重要となってきました。

地域福祉は、行政から市民への一方通行のサービスだけではなく、市民一人ひとりの力、地域自身の力、そして行政との力を合わせ、ともに支え合う仕組みをつくることだと考えています。

「南丹市地域福祉計画」では、このような人と人、人と地域のつながりを重視し、「誰もが安心して、つながりながら住み続けられるまち」を将来像として、人々がいつまでも安心して快適に暮らせ、お互いを理解しながらともに支え合える心豊かなまちづくりをめざして参りたいと考えています。

そのため本計画は、市民ワークショップを通じ、市民の皆様とともに課題を検討し、提案をつくりあげてきました。

この過程こそが、南丹市における地域福祉の第一歩であり、新たな芽吹きであると感じています。

計画の策定にあたり、「南丹市地域福祉計画策定小委員会」で熱心にご協議いただいた皆様をはじめ、市民ワークショップでご意見をいただいた皆様や、関係していただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

また、計画の推進に向けましては、地域福祉の主役である市民の皆様のお力が必要不可欠となります。

新しい時代の南丹市を共に築いていくため、市民の皆様とともに全力をあげて取り組んでまいりたいと考えておりますので、より一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 20 年 3 月

南丹市長 佐々木 稔納

